



長門の話題

Topics

学校給食・くじら交流の日

伝統を引き継ぎ、学ぶ

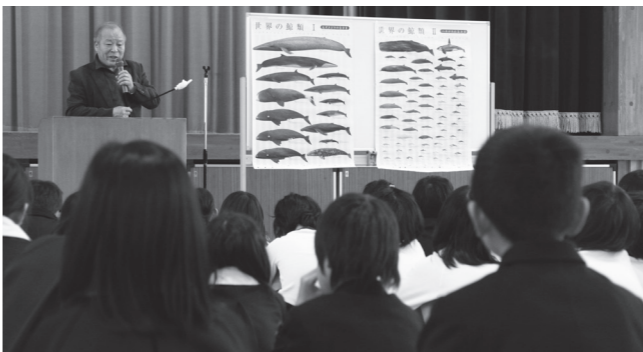
2月3日(月)、市内の小中学校で「学校給食・くじら交流の日」が実施されました。これは、捕鯨の歴史の中で育まれた伝統的食文化を絶やすことなく次代に引き継ぎ、文化を継承させようと、長門市と下関市の両市が共催して開催されたものです。

たのは、長門市内の小学校11校と中学校6校および下関市の小学校52校と中学校22校、幼稚園18園です。このうち浅田小学校では、くじらについて学んでもらおうと、くじら資料館の早川義勝館長による講話が行われ、その後、大西市長や早川館長と一緒に給食を食べました。



▲クジラをおいしそうにほおぼる

▼クジラの種類っていっぱい！



長門市市民協働シンポジウム 支え合う仕組みを作ろう

2月12日(水)、長門市中央公民館で、長門市市民協働シンポジウム「こんな活動やっちよるよ2」が開催され、市民約150人が参加しました。

この日は、油谷地区で地域の高齢者等交通弱者対策に取り組んでいる「角山山坂見守り隊」の小林文男さん、日置地区で「古市ひろば」を運営

している川島久子さん、大津緑洋高校水産校舎で地域連携により藻場の再生に取り組む安部豊さんが活動について報告しました。

3人は、助け合い、支え合う心が協働の根幹をなす考え方で、活動に参加する意欲のある人材や経済的なサポートが重要であると話しました。



▲それぞれが活動状況を報告

▼後半にはやまぐち県民ネット21の船崎美智子氏が会を進めた



浜田市・益田市・長門市・萩市4市長会議 4市での連携を再確認

2月7日(金)、萩博物館で浜田市・益田市・長門市・萩市4市長会議が開かれました。1つめの議題「交通体系」については、山陰自動車道の早期実現への取り組みや、石見空港の利活用について協議されました。大西市長の提案で、JR山陰本線の浜田〜長

門市間に観光列車を走らせる運動に取り組むことが確認されました。もう一つの議題「防災対策」では、昨年の集中豪雨での被害が大きかったことを受け、大西市長が4市での防災資器材の情報交換を行うことを提案し、確認されました。



▲観光列車を提案する大西市長(右)

仙崎公民館で防災講演会 地域防災の第一人者が語る

2月9日(日)、仙崎公民館講堂で防災講演会が開催されました。講師は、元山口県副知事で山口県の地域防災の第一人者である西村亘さん。西村さんは、東日本大震災から得た教訓や近年の想定外の豪雨災害、地域防災の必要性などについて話しました。

▼地震について図面で説明



第47回日置駅伝大会 たすきをつなぎ、想いをつなぐ

2月2日(日)、第47回日置駅伝大会が開催されました。今年には32チーム、約230人が参加しました。10時20分に神田小学校前からスタート。周辺を1周したのち、日置中学校までの7区間を競いました。大西市長や三輪議長、濱地長門警察署長

も選手として参加し、大いに盛り上がりました。結果は次の通りです。

- 1部 優勝：古市A
- 2位：狩宿A
- 2部 優勝：古市B
- 2位：上城kids
- 3部 優勝：仙崎RCみずぐC
- 2位：日置豊ランナーズA

▼消防チームは服装で、警察チームはのぼりでアピール



冬のシーサイドスクエア祭り 全員集合！ 青海島観光基地から元気を

2月9日(日)、青海島観光基地協同組合主催の「冬のシーサイドスクエア祭り 全員集合！」が開催されました。シヨップ青海島前では、山口活性学園や新宅由貴子、アマチュアバンドが歌を披露し、焼き鳥などが販売された会場を盛り上げました。

▼山口活性学園が長門市に初お目見え



長門のPeople



代々伝わる土地で 高品質な特産品を市場へ

大津緑洋高校日置校舎3年

坂田隆治さん

3月は「卒業」の季節。長門市内の高校では、約300人が今年度、3年間通った学び舎を後にし、志を持って社会へと旅立っていきます。子どもの頃から祖父の管理する畑や果樹園で過ごしてきた坂田さんは、将来農業をするための基礎知識を学ぼうと学校生活を過ごしてきました。

このたび卒業するにあたって坂田さんに、高校生活の思い出やこれからの目標について語ってもらいました。

将来は農業を

将来、我が家に代々伝わる田畑や山を活用して農業をしたいと考えています。

家の山ではかんきつ類の夏みかん、長門ゆずきち、カボスなどを栽培していました。

一昨年、山を管理していた祖父が亡くなったことで、土地を引き継ぎ、農業をしたいと考えるようになりました。

高校では、果樹を専攻し、基礎知識・技術を学んできました。

立派な農業経営者に

農業をしていくことは大変で苦労も多いですが、やりがいもたくさんあります。農業大学校では、省力化栽培など最新の技術を学び、立派に農業経営をしていきたいです。

高校生活の思い出

昨年8月に開催された全日本学校農業クラブ連盟中国ブロック大会に出場しました。

発表のテーマは「海で藻場が減少し、砂漠化してしまう磯焼けという現象を軽減するために廃棄されたウニを再利用する」です。この研究では、漁協や水産校舎の先生にも指導してもらい、研究を進めることができました。

結果は優秀賞でしたが、この研究を通して地域の人や先生、班の仲間と協力して粘り強く研究していくことの大切さを学びました。

社会を明るくする運動作文コンテスト

社会を良くするための

1月21日(火)、俵山小学校で第63回社会を明るくする運動作文コンテスト入賞作品の表彰式が行われました。

この日、長門保護区保護司会の松浦静信さんより表彰状を受けたのは、俵山小学校6年生の宮原透也くんです。宮原くんの作文「心に元気をと

りもどすために」は、県内の947件の応募作品の中から山口県保護司会連合会長賞に選ばれました。

表彰を受けた宮原くんは、「社会を良くするには、罪を犯した人にもチャンスを与えて、地域で助け合うことが大切だと思う」と話しました。



▲表彰を受ける宮原くん

地域交通安全に関する感謝状が贈られる

交通安全の啓発に尽力

1月22日(水)、長門警察署で地域交通安全に関する感謝状の伝達式が行われました。

感謝状を受けたのは、仙崎の長井美智子さんです。長井さんは長年、地域交通安全活動推進委員や長門市交通安全母の会会長として、交通安全の啓発活動を行いました。

▼濱地長門警察署長と長井さん(右)



俵山T.Cが6大会連続で全国大会へ

ねばりを生かしベスト16を

2月14日(金)、長門市役所で全国大会出場激励会が行われました。市長室を訪れたのは、3月2日に東京で行われる2014全日本綱引選手権大会男子ミドル級に出場する俵山T.Cのメンバーです。

俵山T.Cは、週4回俵山中学校体育館で練習し、岡山県

津山市で行われた強豪の集まる練習会に参加するなど、綱引きの技術を高めてきました。今回で6大会連続の出場となる俵山T.Cの持ち味は、持久力とねばり。監督の河地茂一さんは「一昨年達成したベスト16を目指したい」と意気込みを語りました。



初期消火を行い、市長から表彰を受ける

チームワークで消火活動

1月29日(水)、長門市役所市長室で、長門市消防規程による一般表彰が行われました。

表彰を受けたのは、市内のヤマト運輸株式会社長門支店で、1月11日に同社の向かいにある民家の火災の初期消火活動を行い、被害を最小限に抑えました。

▼6人で協力して消火活動を行った

